

令和8年1月13日

文部科学大臣 殿

大阪教育大学 学長 岡本 幾子
公立千歳科学技術大学 学長 宮永 喜一

教育課程等特例認定大学等の認定に係る申請書

教育課程等特例認定大学等としての認定を受けたいので、教育課程等特例認定大学等の認定等に関する規程(令和4年文部科学省告示第131号)第2条の規定に基づき、申請計画書及び教育課程等特例認定大学等の認定等に関する規程第1条各号(第4号及び第5号を除く。)に掲げる基準に適合することを証する書類を添えて申請します。

申請計画書

申請目的	<p>先端技術の高度化、社会構造の変化、子供たちの多様化など、学校が直面する課題が複雑化する中、学校現場では ICT の効果的活用や学習者の自己調整力を育む指導など、新たな専門性を備えた教員の育成が一層求められている。中央教育審議会教員養成部会においても、教職課程の在り方として、次のような新たな学びのモデルの必要性が指摘されている。</p> <p>①オンデマンド教材と対面型学修を組み合わせた「学びのトータルデザイン」により、基礎知識の習得を効率化しつつ、対面では実技・演習・議論を充実させること</p> <p>②ICT を活用した柔軟な履修方法により、多くの学生が教職課程を履修しやすくすること</p> <p>③CBT 等の活用により、学生が「学びたいときに学ぶ」自律的で継続的な学びを可能にすること</p> <p>④デジタルを活用した基礎知識習得・確認の仕組みにより、学修成果の実質的保証を図ること</p> <p>本申請は、これらの国の改革動向を踏まえ、大阪教育大学と公立千歳科学技術大学の双方が強みを生かし、教職課程の質的転換を先導的に実現することを目的とする。</p> <p>また、教育課程等特例制度を活用し、大阪教育大学が有する情報科教育法の授業を公立千歳科学技術大学が自大学科目として位置付けることで、教職課程を安定的かつ質の高い形で運営できる体制を構築する。</p> <p>公立千歳科学技術大学は、データサイエンス教育・CBT 活用・全学的なオンライン学修環境など ICT 活用に強みを有しており、これらを 2 大学協働により教職課程に取り込むことで、「学びのトータルデザイン」を体現する仕組みを構築する。両大学の協働により、情報系教員不足への対応とともに、ICT・オンラインを活用した先導的な教科指導法科目を全国に先駆けて実現し、新たな教員養成モデルを提示する。</p>
先導的な教育を行う学部等	大阪教育大学：教育学部 学校教育教員養成課程（提供側） 公立千歳科学技術大学 理工学部（開設側）
先導的な教育において、その全部又は一部によらないこ	大学設置基準第 19 条第 1 項（授業科目の自ら開設の原則）

<p>ととする特例対象規定</p>	
<p>先導的な教育の実施内容</p>	<p><授業科目の概要> 大阪教育大学が開設する教職科目2科目を公立千歳科学技術大学にオンライン形式で提供し、公立千歳科学技術大学はそれらを自大学科目として開設する。具体的には、以下の2科目を提供する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 情報科教育法Ⅰ（2単位） 2. 情報科教育法Ⅱ（2単位） <p>これにより、教育職員免許法施行規則第4条及び第5条第4欄に定める「教科及び教科の指導法に関する科目／各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む）」に対応し、公立千歳科学技術大学の教職課程内の科目として開設できる。</p> <p><教育方法> 科目は大阪教育大学が運営する教員生涯学習プラットフォーム OZONE-EDU を用いて配信する。基礎的な知識を扱う回はオンデマンド型授業とし、模擬授業等の演習が必要な内容は同時双方向型授業を実施する。公立千歳科学技術大学の教職課程全体及び教職支援において、必要に応じて CBT や対面演習を組み合わせ、オンラインと対面を適切に統合した学修を実現する。</p> <p><教育実施体制> 両大学により「連携協議会」を設置し、運営・質保証・成績評価基準の調整を行う。成績評価・履修管理・学生の履修支援は、OZONE-EDU の共有機能を活用しつつ両大学が協力して行う。最終的な単位認定は公立千歳科学技術大学が行う。</p>
<p>先導的な教育の実施が、当該先導的な教育を行わない場合に比して教育研究水準の向上に資する取組である根拠</p>	<p>本取組は、大阪教育大学と公立千歳科学技術大学の双方が有する強みを結合し、教職課程における学びの在り方を質的に転換することを目的としたものである。特に、公立千歳科学技術大学における情報系教科の担当教員確保が困難となる中、教育課程等特例制度を活用して、大阪教育大学が開講する「情報科教育法Ⅰ・Ⅱ」を公立千歳科学技術大学が自大学科目として位置付けることで、教職課程を安定的かつ質の高い形で展開できる体制を構築する点に先導性がある。</p> <p>さらに、両大学はこれまでも ICT 活用教育を実践しており、両大学のノウハウを組み合わせることで、従来オンライ</p>

	<p>ン化が難しいとされてきた模擬授業・指導案作成等を含む「教科指導に関する科目」において、オンデマンド型・双方向型を適切に組み合わせた実践的な教育モデルの開発に共同で取り組む。これは、中央教育審議会が示す、基礎知識のオンライン学修と対面での深い学びを組み合わせる「学びのトータルデザイン」の実現にも資するものであり、2大学の協働により、新たな教科指導法と教職課程の在り方を全国に提示する取組となる。</p> <p>これらの点から、本取組は、教員確保の課題が顕在化している情報系分野において、教職課程の維持・高度化を両立させるとともに、ICT・オンラインを活用した先導的な教科指導法科目の開発を通じて、従来の教育方法に比べて教育研究水準の向上に明確に資するものである。</p>
学生に対する適切な配慮のための具体的な措置	<p>公立千歳科学技術大学において、授業開始に先立ちガイダンス等で制度や履修方法等の説明を実施する。履修・成績に関する質問受付やオンライン受講環境支援は教務課にて対応する。両大学においては、授業内容や受講方法に関する質問受付や、成績異議申立てに対して再評価を行える体制を確保する。</p>
実施予定期間	令和9年4月～令和14年3月
先導的な教育の実施を通じて得られる教育効果の検証に係る計画	<p>本取組における先導的な教育の実施及び教職課程の運営については、公立千歳科学技術大学による教職課程の自己点検・評価に加え、両大学の下に設置する連携協議会において、教育効果の検証を行う。具体的には、履修者数・単位修得率・受講満足度等の年次評価、情報科教員免許状取得者数及び教員就職者数の追跡、並びにアンケートによる教員就職意欲や満足度の測定を通じて、取組全体の成果を把握する。</p> <p>これらの検証結果を踏まえ、教育内容及び方法の改善を図るための質保証のPDCAサイクルを整備し、両大学の連携により継続的に運用する。</p> <p>なお、公立千歳科学技術大学の教職課程履修者は毎年度、各学年5～10人程度を想定しており、当該科目の履修者に対して修学上の支援を行うことで、単位修得率100%を目標とする。本取組を通じて、教職課程の質向上と持続的な改善を推進し、地域社会における質の高い教師の安定的な供給を実現する。</p>

注) 本申請計画書は4ページ以内を目安とし、必要な資料(例: 詳細情報や工程表など。様式自由)は別途添付すること。

教育課程等特例認定大学等の認定等に関する規程第 1 条各号（第 4 号及び第 5 号を除く。）に掲げる基準に適合することを証する書類

- 1 教育研究活動等の状況について自ら行う点検、評価及び見直しの体制が十分整備されていること並びに教育研究活動等の状況を積極的に公表していること。

教育研究活動等の状況について自ら行う点検、評価及び見直しの体制が十分整備されていること	<p>大阪教育大学及び公立千歳科学技術大学は、教育研究活動等が適切な水準であることを自らの責任において検証するため、内部質保証体制を構築し、大学の各種活動について自己点検・評価を行い、大学全体の質保証に努めている。</p> <p>(ホームページの URL)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪教育大学 https://osaka-kyoiku.ac.jp/university/plan/hojin/hyoka.html ・公立千歳科学技術大学 https://www.chitose.ac.jp/info/info_index/info_evaluation
教育研究活動等の状況を積極的に公表していること	<p>大阪教育大学及び公立千歳科学技術大学は、教育研究上の基礎的な情報、修学上の情報等をホームページで公表している。</p> <p>(ホームページの URL)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪教育大学 https://osaka-kyoiku.ac.jp/university/joho/houtei/disclosure/gakkokyoiku172_2.html ・公立千歳科学技術大学 https://www.chitose.ac.jp/info/info_index/311

- 2 申請の日の直近の認証評価において適合認定を受けていること。

<p>(ホームページの URL)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪教育大学 https://osaka-kyoiku.ac.jp/university/plan/hojin/hyoka.html ・公立千歳科学技術大学 https://www.chitose.ac.jp/info/info_index/info_evaluation

- 3 申請の日前五年以内において次のいずれにも該当しないこと。

<p><input checked="" type="checkbox"/> 申請の日前五年以内において次の①～③のいずれにも該当しない。</p> <p>① 法令の規定、法令の規定に基づく所轄庁の処分、寄附行為又は定款に違反</p>
--

したこと。

- ② 財政状況が健全でなくなったこと。
- ③ 上記のほか、教育条件又は管理運営が適正を欠くに至ったこと。